

令和4年度障がい者支援施設南富良野からまつ園事業実績報告書

第1 総括

令和4年度の南富良野からまつ園は、法人理念に基づき、利用者本位の福祉サービスを主体とした地域福祉に根差した事業運営に努めました。中でも、新型コロナウイルス感染症では最大限の予防対策に取り組んでまいりましたが、令和4年8月・10月、令和5年1月に施設内における集団感染が発生し、延べ職員16名、ご利用者55名の方が罹患されましたが、長期入院者や重篤な状態となる方はありませんでした。感染症の発生及びまん延時に対処するため、事業所全体で危機管理体制の強化を図り、業務継続計画（BCP）の更新と必要な研修や訓練等の取組みを実施しました。また、感染予防体制の中でも、ご利用者の生活の質を落とさないよう、個別支援を重視したサービスの提供に努め、ユニット・個室の特徴を活かし、利用者のプライバシーに配慮した環境整備と利用者の立場に立った適切な支援の提供に努めました。人材育成では、ご利用者個々の障害特性を理解し、専門的で高度な支援提供に向けて、施設内・外研修へ積極的に参加させるなど、専門知識と実践力の向上に取り組みました。人材確保では、令和4年8月にインドネシア人の特定技能者4名の採用をはじめ、大学・専門学校等の学生実習の受入れを積極的に行うと共に、関係機関とも情報共有を図り、人材確保の啓蒙・啓発活動を推進しました。

一方、更なる職員の負担軽減と利用者サービスの向上を目指し、今後も円滑にICT事業が導入できるための検討を進めます。更に、令和3年度の国庫補助金（繰越）を受けて、大規模な停電等の発生後も事業継続が可能となるよう、非常用自家発電設備工事を完了しました。

なお、平成4年度は、次の事項を重点に取り組みました。

1 感染症予防対策の強化について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染委員会を適宜開催し予防策の周知と情報の共有を徹底し、感染予防に努めました。また、施設内で発症者がした場合を想定した対策の見直しや業務継続計画（BCP）の更新を行い、事業所全体で感染対策に取り組みました。インフルエンザやノロウイルス等の感染症についても、予防策の周知徹底と発生時の対応強化を図り、感染症の蔓延予防に努めました。

2 人権擁護と虐待防止の徹底について

障がい者虐待防止法の順守を推進するため、虐待防止委員会を毎月開催し、権利擁護・虐待防止に関しての情報共有と研修体制を整えました。また、権利擁護に関する資料の読み合わせを全体ミーティング時に行うなど、権利擁護に対する意識付けを推進し、利用者に対して常に適切な接遇や支援が行われているか注意喚起を行い、虐待や身体拘束の防止に努めました。

また、ご利用者についても自治会（あおぞらの会）を通して、人権擁護・虐待防止についての勉強会も開催しています。

3 事故防止と災害対策の強化について

事故防止では、ヒヤリハットや事故報告に対して、職員全体で情報を共有し、早急に原因究明と随時対策を講じることで再発防止に努め、迅速な対応策を講じる体制づくりの強化に努めました。また、防災については、自然災害が発生した場合を想定し、利用者に必要なサービスが安定的かつ継続的に提供できるための、業務継続計画（BCP）の変更を行うと共に、実効性のある訓練を継続的に実施するなど、事業所全体で危機管理の向上に努めました。

4 人材育成と人材確保（外国人福祉職員の受入れ）について

利用者に安心、安全なサービス提供ができるよう質の高い職員の育成に向けて、職種や経験年数に応じた研修機会を提供するなど、専門的知識及び技術の習得など職員の資質向上を図りました。また、各種学校からの学生実習生を積極的に受入れるなど、受入れ体制の充実も図り、実習生等の採用へとつなげる取組みにも努めました。また、インドネシア人特定技能4名の受入れでは、研修体制の構築と職場環境や生活支援のサポートを充実させ、当施設で働きやすい生活環境の提供を行い、多文化共生社会の取組みも推進しています。

5 働きがいのある職場づくりについて

働き方改革を推進するとともに年次有給休暇取得の促進を図り、適切な労務管理と業務の省力化を行うなど、時間外労働削減に取り組めました。

また、産業医と連携し、施設内の職場巡視やストレスチェックの実施とその結果を報告し、意見を求めるなど適切な対応を図り、職員の健康管理に努めました。

第2 運営組織（令和5年3月31日現在）

1 職員配置状況

区分	園長	総務部	支援部	短時間	計
男性	1	5	23	2	31
女性		2	17	13	32
計	1	7	40	15	63

第3 ご利用者の状況（令和5年3月31日現在）

1 各ユニットの男女別状況

区分	もりのまち	ほしのまち	はなのまち	にじのまち	計
男性	25	33			58
女性			19	16	35
計	25	33	19	16	93

2 年齢別

区分	～20 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70 以上	最高年齢	最小年齢	平均年齢
男性	1	3	6	21	16	5	6	82歳	19歳	49.5歳
女性	0	1	6	9	6	6	7	87歳	27歳	54.7歳
計	1	4	12	30	22	11	13			51.4歳

3 障がい別

区分	てんかん	自閉傾向	統合 失調症	ダウン症	身体 障がい	視覚 障がい	聴覚 障がい	内部疾患	言語 障がい	強度行動 障がい
男性	14	25	0	5	4	1	4	4	2	27
女性	12	7	2	1	4	1	1	2	4	16
計	26	32	2	6	8	2	5	6	6	43

4 障害支援区分

支援区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男性	0	0	0	6	16	36	58	5.52
女性	0	0	0	3	8	24	35	5.60
計	0	0	0	9	24	60	93	5.55

第3 事業と運営方針

1 事業の内容

(1) 生活介護事業 定員：100名（男性60名、女性40名）

日中支援において、ご利用者の排泄及び食事等の介護、日常生活上の助言や相談、支援を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会の提供、身体機能の生活能力の維持・向上のための援助等を行いました。

(2) 施設入所支援事業 定員：100名（男性60名、女性40名）

夜間支援において、ご利用者の入浴、排泄及び食事等の介護・支援、日常生活上の助言や相談、支援等を行いました。

(3) その他の事業

相談支援事業 (計画相談)	相談支援事業所「ふらっぷ」において、ご利用者の意思及び人格を尊重し、ご利用者の立場に立って計画相談支援を行うとともに、ご利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、総合的かつ効率的に提供することに努めました。
------------------	--

2 運営方針の内容

(1) 総務部・総務課

運営の基礎となる適性且つ組織的な財務管理を実施し、ご利用者の生活環境及び職員の労働環境向上を図るとともに、感染症及び災害等に対する体制を強化し、安全・安心な施設経営を推進しました。

財務状況把握及び経営基盤の強化	報酬単価をはじめとする社会等の現況を的確に認識し、適正な在庫管理や計画的な予算執行を進め、収支状況及び他事業所を含めた経営意識の共有化、醸成を図り、経営基盤の安定化と透明性の確保に努めました。
中長期計画の遂行	明確な将来的ビジョンの下、環境や社会情勢の変化に適応した地域活動や、経営理念に基づく事業運営を継続的且つ計画的に進めるため、現在進行している中長期計画の遂行及び見直しを図りました。
人材確保・定着	法人独自のキャリアパス、育児休暇制度等の浸透を進め、職員定着率の向上を図り、また、事業所見学会やオンラインによる事業所説明会を随時、開催するほか、SNS等の時代に即した媒体を活用し、新規採用職員の確保に努めました。
地域における公益的な取り組み	地域の福祉的ニーズを把握し、事業所の有する設備、専門性を活用し、各関係機関と連携しながら地域の福祉課題、生活課題の解決に努めました。また、地域での総合教育や福祉専門職養成等に関して主体的・積極的に取り組み、社会全体の福祉力向上及び共生を図りました。
楽しく、安心できる食事サービスの提供	委託業者と連携を図り、衛生管理の向上と感染症対策を徹底し、個々の嗜好に合った給食を提供するほか、安全面を十分に考慮したうえで、楽しく、和やかな雰囲気での食事サービスを提供しました。併せて、非常時に際し、常時三日分以上の食事を提供できるよう計画的な非常食の管理を実施しました。
栄養マネジメントによる適切な栄養管理の実施	ご利用者の年齢、体重、生活活動強度を基に、栄養バランス、食事量に配慮した献立を作成し、適正な栄養管理と健康維持増進に努めました。また、治療食や特別食について、看護師や支援員等と連携し、過剰摂取や肥満傾向、食事拒否等がみられるご利用者に対しては個別に対応し、運動量との関連性を考慮しながら体力の維持が図られるよう、食事形態の改善に努めました。
ICT機器導入の検討	業務の有効性及び効率化、スリム化を図ることでの就業環境の改善を目的とするとともに、ご利用者自身の負担やリスクを軽減し、安全な福祉サービスを提供するため、様々な角度からICT機器の導入等について検討を進めました。

活気ある 職場づくり	産業医と連携し、健康診断や生活習慣病予防検診のほか、職員のストレスチェックを実施し、職員のメンタルヘルス対策に講じました。また、職場環境の整備や福利厚生の推進によって、心身ともに活気のある職場づくりに努めました。
施設の保安全管理	新園舎建設及び旧園舎の改築から10年を経過したことから、危機管理や住環境整備のための修繕・改修を計画的に行うとともに、施設用品の破損等には迅速に対応し、ご利用者の生活環境の保安全管理に努めました。また、中長期計画に基づき、年次計画での施設整備を実施し、安全性の高いサービスを提供しました。
防災・防犯対策等の 整備	事故や災害等に対するご利用者及び職員の認識を深め、応急処置講習や避難・救出等の訓練を定期的に行いました。また、災害の未然防止対策や災害発生時に適格な対応ができるよう、各種マニュアルの充実を図るとともに非常用自家発電設備を整備するなど、総合的な防災対策の整備及び体制の構築を図りました。

(2) 生活支援部・生活支援課

障がいの多様化に応える為、個々のニーズや特性に適した支援をより一層充実して提供していくため、生活支援課内の協力体制を図り、支援の向上に努めました。

つきましては、次の事項を重点に取り組みました。

リスクマネジメント 手法の活用	ご利用者の安全確保とサービスの質の向上を目指し、リスクマネジメント手法を取り入れ、事故の真因を探究し、事故や虐待、権利侵害、感染症、犯罪の発生を未然に防ぐとともに、火災や自然災害に備えた実践的な災害訓練を実施しました。また、ヒヤリハットや事故報告書等を職員間で情報共有し、組織的に再発防止策を講じることでリスクの低減に努めました。
外国人福祉職員の 受入れ	特定技能者4名が、日本人職員と円滑なコミュニケーションを確立し、早期のスキルアップ及び職場への定着を図るため、日本人職員の意識改革、受け入れ体制を整備するとともに、外国人職員向けの業務マニュアル、研修体制、相談窓口および日常生活をサポート体制の構築を図りました。
感染症予防対策 の強化	感染症の予防と対応力を高めるため、職員およびご利用者への研修会を実施し、感染予防の徹底を図りました。また、感染予防委員会等による周知、注意喚起を行うとともに、感染症発生時の必要物品等の確保、各種BCPの整備および更新による対応策の強化を図りました。また、必要に応じて、各種予防接種についても安全かつスムーズに接種できるよう関係機関と調整しました。
権利擁護と 虐待防止の徹底	ご利用者の意思決定を尊重し、意思疎通が困難な方に書面提示だけでなく現物提示、映像での説明などを用いて意思疎通の方法を活用するなど合理的配慮に努めました。また、虐待・権利擁護に関する関係法令を定期的に職員間で読み合わせや内容の確認をすると共に、虐待防止委員会を中心に啓発ポスターや問題提起、会議等での検討テーマの設定、虐待・権利擁護研修会を開催するなど、虐待防止と人権意識の更なる向上を図りました。
防災・防犯対策の 強化	防災については、火災、水害、地震、雪害（停電）など様々な自然災害を想定し、災害発生時にご利用者・職員が迅速に行動できるように訓練を実施し、意識の向上や災害時への備えを身に着けました。また、迅速かつ効率的に指示事項を情報伝達できるようにLINEの一斉送信を活用しました。
職員の資質と 専門性の向上	専門職員としての役割を自覚し、絶えず自己研鑽と創意工夫を重ね、ご利用者の個別ニーズと希望に対応できる支援・介護技術の向上に努め、虐待防止、意思決定支援、事故等のリスクマネジメントを意識し、専門性の高い支援を実践しました。また、職員の自己啓発と資格取得、研修の機会の確保、定期面談による個別化も考慮した職員育成を進めるとともに、階層別研修や外部研修参加後の伝達研修、有資格者による専門分野の内部研修を開催するなど専門性の向上を図りました。

個別支援計画の充実	ご利用者が日常生活において適切な生活習慣の確立と社会生活への適応性を高められるように、ご利用者、ご家族と相談のうえ、個別支援計画を策定し、障がい特性や個々のニーズに応じた、きめ細やかな支援サービスを提供しました。また、身体機能の変化や課題行動の応じ、他職種とのケース会議やモニタリングを通じて、ご利用者一人ひとり支援内容の見直しや変更を進めることで、健康保持と情緒の安定を図りました。
日中活動・余暇支援の充実	ご利用者一人ひとりが、年間を通して楽しく充実した生活が過ごせるよう、障がい特性を考慮したうえで感染症対策を講じながら各ユニット単位での活動を計画し実施しました。また、ご利用者の重度化、高齢化を踏まえ、身体機能や認知機能の低下予防、健康増進につながる個別活動についても屋内での活動を中心に行うことが出来ました。
健康の保持・増進	日常におけるご利用者、職員の健康状況の把握、体力維持・向上に努めました。また、感染症対策状況を考慮しながら、協力医療機関と連携して、定期健康診断および各種検診等を実施しました。また、高齢化に伴う、咀嚼、嚥下機能低下予防のため、口腔ケアや機能訓練の充実を図りました。
食事環境の充実	行動障がい、身体機能や認知機能の低下に配慮し、全ご利用者の食事摂取状況を調査し、咀嚼や嚥下状況、偏食、行動の特性を考え、ニーズに応じてソフト食、軟菜食など食べやすい食事を提供しました。また、嗜好調査等を参考においしさ、楽しさ、食べやすさ等につながるよう、提供場所や食事の形態、摂取カロリー量も含めて見直しを図りました。
生活環境の改善	行動障害、身体機能の低下や認知症状に配慮し、全ご利用者に合理的配慮が講じられるように潜在的ニーズの把握や意思決定支援を推進し、個々に適した住環境の整備に努めました。より安全で安心して暮らしていくため、支援の向上を図り、感染症下でご利用者のニーズに迅速に対応するため、インターネット通販や出張販売の利用促進に努めました。
自立に向けた支援の推進	障がい程度に応じて、可能な限り地域生活に移行できるよう、社会自立の観点から意思決定支援の充実を図りました。また、自立生活体験や就労に向けて自己選択できる環境と機会を提供しました。
自治会活動の活性化	ご利用者本位のサービス提供の実現に向けてあおぞらの会および利用者生活委員会を開催し、ご利用者の声を常に聞きながらサービス提供の改善に繋げました。また、新型コロナの影響により、やむを得ず行事等を大幅に縮小しましたが、感染対策を講じながら可能な限り維持・継続することで、ご利用者のストレス軽減に努めました。
I C T 化の活用	全体での情報共有及び認識の強化を図ることを目的に I C T 導入を検討し、「仕事の効率化アンケート調査」を実施することで次年度の本格導入に向けて準備を進めました。また、業務に関する情報をよりスピーディーに伝達するための電子媒体の導入と紙媒体の削減、ウェブ会議の活用等を進め、より安心して効率的な職場環境の構築を目指し協議を重ねました。
S N S を活用した広報活動の推進	S N S を活用して情報提供することで、コロナ禍における新生活様式での施設の取り組みやご利用者の様子などを広く発信しました。また、ご利用者の入所希望や職員の就職にも興味・関心が高まるようシステムや操作方法の周知も含め改善に取り組みました。
学生実習・ボランティアの受け入れ	学生実習やボランティアに感染対策を講じながら、積極的に受け入れ、次世代の育成と障がい福祉への興味・関心の啓発を図りました。また、感染症下での学生実習のニーズを把握し、内容の充実に努めました。

①生活介護事業

ご利用者一人ひとりに適した支援サービスの提供をするため、ご本人及びご家族の意向を確認し、その内容に基づいて生活介護サービスの内容を見直すと共に、安心と安全を基本にした各種サービスと感染対策に配慮した活動プログラムを提供しました。

◇生活支援課◇

《自立した日常生活および社会生活を営むことができるための支援》

生活支援	食事、排泄、入浴、移動、整容、歯磨き、衛生、服薬、居室内清掃、衣類整理、相談、情緒の安定等を図りました。
居住環境の整備	安全に配慮し、定期的に清掃を行ない、清潔な環境の保持に努めました。
定期巡回	体調確認、行事連絡、時事の話題提供を行いました。
行動障がい者への支援	施設の生活環境に他者との関りも含めて配慮した支援をしました。施設外での行動を予測して情緒の安定につながるために提示や職員の同行を調整し、個別的な支援を提供しました。
高齢者への支援	高齢に伴う身体機能や認知機能が低下したご利用者に補装具の調整や時間帯の調整と配慮、提示方法を工夫し、個々に応じた支援・介護・見守りを行いました。また、同法人内の特養への異動を行い、介護ケアが適切に受けられるように進めました。
健康状況の把握	ADLや運動機能を日々の生活で観察するとともに、バイタルサイン、体重、口腔、皮膚、精神状態を確認するとともに、記録して、継続して観察し、体調の変化や異常の把握に努めました。

◇活動支援課◇

個々のニーズや特性に応じた日中活動を提供し、健康維持・増進を図り、生きがいを感じられるサービス提供を目指しました。

活動支援第1係

創作活動	創作活動	各種行事、各種施設内で展示することで、創作意欲向上を図りました。
	演芸活動	感染症対策のため園芸やダンスを行うことはありませんでしたが、ユニット単位でリズム体操を行い身体を動かす機会を設けました。
療育活動	スノーズレン	心地良い感覚刺激により、リラックス効果や喜びを得るために療育室で個別に行い、情緒の安定を図りました。
	療育活動	個々のレベルに応じた構造化による作業手順を提供しました。
	創作活動	各種行事、施設内外の展示会に向けた作品制作等を進め、目標設定により、創作意欲向上を図りました。

活動支援第2係

生産活動	屋外活動	花壇整備、施設周囲の環境整備、除雪、こざくら園の農産補助作業を行いました。
	屋内活動	食器洗い、食堂・洗面所清掃、施設内清掃、ゴミ出し（リサイクル）を行いました。
元氣班	健康維持・増進活動	レクリエーション、スポーツ、屋内外散歩、歩行機能訓練、体操、風船バレー、ボール運動、日光浴、花壇管理、雪中運動で体力増進を図りました。
	生きがい活動	カラオケ、パズル、編み物、音楽鑑賞・演奏活動、塗り絵・スクラッチ、アート展に向けた作品制作、個別活動（カルタ、トランプ、釣りゲーム、園芸、家庭菜園、シャボン玉等）ADL、IADLの維持向上を図りました。

◇健康支援課◇

関係医療機関等との連携を図り、疾病の早期発見・早期治療に努め、心身共に健康で豊かな生活が送れるように支援しました。また、各種感染症の流行に対して、必要な知識や技術の習得を目的とした研修会等を実施し、施設内における感染予防対策の徹底に努めました。

健康管理	健康管理全般、医療的な処置、薬剤管理、摂食・嚥下調査
通院支援	各診療科目における定期通院、必要に応じた通院同行支援、往診介助
検診支援	歯科検診、定期健康診断、胃がん検診、婦人科検診
予防接種	新型コロナウイルス、インフルエンザ等の予防接種等

感染予防対策	<p>新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関する知識や技術の習得を目的とした内部研修会を実施しました。感染防護具の着脱、ゾーニングの基礎知識と実践、嘔吐物処理等 ・感染防護具の補充管理 ・高齢者施設等の従事者等に対する集中的実施計画～4月、10月（各1回実施）11月～3月（週2回実施） ・新型コロナワクチン接種～4回目（7～8月）、5回目（11～12月）実施、ご利用者・職員共に全員接種しました。 ・インフルエンザ予防接種～11月実施、ご利用者・職員共に全員接種しました。
--------	--

◇地域企画調整科◇

ご利用者の地域生活移行に向け、単身生活や社会活動が体験できる機会を提供し、自立支援の促進に努めました。また、ご利用者の希望を反映した余暇活動や季節感のある行事について、新型コロナウイルスの感染予防対策に準じて企画し、楽しみのある生活を提供しました。

施設外訓練	一般事業所での施設外訓練者に対して、訓練中の訪問や個別面談を行い、ご利用者の就労スキルの向上とニーズの把握に努めました。
施設内訓練	日常の面談等を通して希望するご利用者を把握し、施設内で取り組める清掃等の訓練機会を提供することで、自立意識の向上に努めました。
法人・3事業所合同イベント	新型コロナウイルス感染症対策により、花火大会、ふれあいフェスタは中止となりましたが、スポ・レク交流会については、規模を縮小するなど感染対策を講じながら実施しました。
町内イベント	新型コロナウイルス感染症対策により、湖水まつり、神社祭等の町内で開催される行事が規模縮小や観覧中止となりました。
余暇活動	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、ドライブや外出、映画鑑賞会等を企画し、ご利用者に生活の中で楽しみを感じられる活動を提供しました。
地域生活移行支援	個別支援計画書に基づき、自立訓練ホーム「ふらっぶ」を活用して生活体験を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策により、料理教室やなんぷ～香房及びGHの見学を実施することができませんでしたが、様々な機会として避難訓練、町内での買い物体験等を提供し、地域移行への意識向上に努めました。
その他	障がい者週間記念事業を法人内部で企画・立案し、映画鑑賞会やご利用者・職員それぞれに虐待防止研修会を実施しました。また、町内各事業所へのポスターの掲示、作品展示等、啓蒙活動に努めました。

◇ご利用者自治会の支援（あおぞらの会）◇

意見交換や地域の情報提供を行い、ご利用者の意見をその都度確認し、主体的に各種事業や計画立案等の活動ができるように側面から支援しました。

利用者生活委員会	利用者生活委員会議において、意見交換やサービス評価を行い、その内容を職員に周知しました。
事業計画の立案	事業計画の立案、実施に関するサポート（総会、クリーン作戦、クリスマス会、感染予防研修会、虐待・権利擁護研修会、防犯教室）
情報提供	ポスター・資料づくり
自動販売機の運営	清涼飲料水の販売
総会・役員会の開催	総会・役員会の準備、運営
誕生会の協力	誕生会プレゼントの助成
施設内清掃活動	清掃チェック、大掃除の協力
施設外清掃活動	地域でのクリーン作戦
地域奉仕活動	除雪ボランティアへの参加、リングプルの回収

◇家族会の支援（家族会事務局）◇

家族会と連携し、家族会事業の円滑な運営を事務局がサポートしました。会員相互の親睦を図り、総会、研修会、情報交換会等の企画や運営について協議しました。役員会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、南富良野町保健福祉センター「みなくる」にて開催いたしましたが、総会は感染状況を考慮して書面決議、研修会や情報交換会は中止といたしました。

②施設入所支援事業

主に夜間において、入浴、排泄、食事等の支援、生活等に関する相談及び助言、その他必要な日常生活上の支援を行いました。

日常生活での支援	起床、就寝、睡眠、更衣、食事、排泄、歯磨き、衛生、服薬、相談、情緒の安定等を図りました。
ホームルーム	体調確認、行事連絡、話題提供、地域情報提供
就寝前支援	寝具確認、トイレ誘導、おむつ交換
定期巡回	居室内温度調整、体調確認
行動障がい者への支援	施設の生活環境と施設外での行動を予測した場面での情緒の安定につながる個別支援を提供しました。
高齢者への支援	高齢に伴う身体機能や認知機能が低下したご利用者に個々に応じた支援・介護・見守りを行いました。
健康状況の把握	食事、排泄、睡眠、運動機能の他バイタルサイン（検温・血圧、呼吸機能）、体重、口腔、皮膚、精神状態などをし、定期的なデータ収集を用い、体調の変化や異常の把握に努めました。

3 職員の研修、研究体制

○関係機関の主催する各研修会等の参加は次のとおりです。

研修事業名	参加職員	参加延人数
北海道社会福祉協議会	支援員	2人
日本・北海道知的障害福祉協会	園長・支援員	3人
北・北海道知的福祉協会	園長・支援員	4人
その他	支援員・看護師	12人

○施設主催による各研修会は次のとおり実施しました。

研修名	開催回数	延参加職員
新任者研修	合同研修 1回 (4月) からまつ園内部研修会 1回 (4月)	令和3～4年度採用職員
内部研修会	合同研修 6回 (9月、11月、12月、1月(2回)、2月) からまつ園内部研修 1回 (5月)	134名 その他
階層別研修	4回 (12月、1月、3月(2回))	41名 (全職員対象・階層別)

4 年間行事実績

令和4年度の年間行事実績は、別紙1のとおりです。

令和4年度 主要事業等報告書

月	日	期 間	内 容
4月	1日(金)		辞令交付式 太田幸華支援員、後藤陽斗支援員、志戸田剣汰支援員 入職
	9日(土)		緑陽台歯科検診
	16日(土)		家族会役員会 産業医訪問
	21日(木)		あおぞらの会総会
	26日(火)		誕生会
5月	3日(火) ・5日(木)	2日間	春のお楽しみ会(ドライブ外出) 映画上映会
	14日(土) ～17日(火)	4日間	PCRスクリーニング検査
	21日(土)		第1回法人施設見学会
	24日(火)		法人監事決算監査
	25日(水)		法人外部研修会「外国人介護・福祉人材の動向と実践」
	26日(木)		からまつ園・こざくら園合同火災避難訓練 誕生会
	27日(金)		第1回理事会
	31日(火)		夜間職員緊急招集訓練
6月	10日(金)		第2回理事会
	13日(月) ～23日(木)	11日間	川田時栄さん・旭川赤十字病院入院
	13日(月) ～25日(土)	13日間	旭川福祉専門学校こども学科保育実習受入(1名)
	14日(火)		セレクトメニュー(お弁当)
	16日(木)		ご利用者・職員前期健康診断
	17日(金)		産業医訪問
	23日(木)		誕生会
	27日(月)		定時評議員会
	29日(水)		ご利用者・参議院選挙説明会
	30日(木)		障がい関係事業所・防犯訓練研修会
	30日(木) ～7月8日(金)		ご利用者・参議院選挙期日前投票
7月	2日(土)		第41回スポ・レク交流会
	7日(木) ～8月5日(金)	30日間	川田時栄さん・旭川赤十字病院入院
	9日(土)		産業医訪問
	12日(火)		町外外出①(富良野方面)
	12日(火) ・19日(火)	2日間	ご利用者・新型コロナウイルスワクチン接種(4回目)
	14日(木)		町外外出②(帯広方面)
	16日(土) ～8月17日(水)	33日間	神田信雄さん・富良野協会病院入院
	19日(火)		町外外出③(帯広方面)
	19日(火) ～30日(土)	12日間	経専北海道保育専門学校こども未来学科実習受入(3名)
	20日(水)		誕生会
	21日(木)		町外外出④(帯広方面)
	22日(金) ～25日(月)		PCRスクリーニング検査
	28日(木)		町外外出⑤(富良野方面)

月	日	期 間	内 容
7月	29日 (金)		老田和子さん・退所
8月	4日 (木)		町外外出⑥ (帯広方面)
	4日 (木) ・8日 (月)	2日間	職員・新型コロナウイルスワクチン接種 (4回目)
	6日 (土) ～ 16日 (火)	11日間	拓殖大学北海道短期大学保育学科実習受入 (1名)
	9日 (火)		特定技能実習生4名受入開始 (デン支援員・アラ支援員・リナ支援員・シティ支援員)
	10日 (水)		特定技能実習生歓迎食事会
	12日 (金)		ふらの三番館出張販売 (商品受取)
	15日 (月)		職員・新型コロナウイルス感染者発生 (施設外)
	15日 (月) ～ 17日 (水)	3日間	名寄市立大学社会福祉学科SW実習受入 (3名) ※職員の新型コロナウイルス感染者発生のため中断
	19日 (金) ～ 9月28日 (水)	41日間	須田春雄さん・富良野協会病院入院
	20日 (土) ～ 9月11日 (日)	23日間	ご利用者、職員新型コロナウイルス感染者発生 (施設内) に伴う感染拡大防止対策実施及び感染者等健康観察期間
	23日 (火)		特定技能実習生・辞令交付式
	24日 (水)		誕生会
9月	21日 (水)		特定技能実習生・多文化共生推進事業参加 ご利用者胃癌健診
	22日 (木)		誕生会 あおぞらの会映画会
	26日 (月) 10月～21日 (金)	26日間	名寄市立大学社会福祉学科SW実習再開 (3名)
	28日 (水)		第3回理事会
	29日 (木)		法人内部研修会 (接遇マナー研修)
	30日 (金)		須田春雄さん・退所
	30日 (金) ～ 10月 2日 (日)	3日間	職員スクリーニング抗原検査実施
10月	1日 (土)		法人職員交流会 (南富良野町金山パークゴルフ場)
	5日 (水)		法人定例監査
	11日 (火)		ふらの三番館出張販売 町外外出⑩ (富良野方面)
	13日 (木)		秋の味覚まつり (焼餃子、帆立、フランクフルト等提供)
	17日 (月) ～ 11月17日 (木)	32日間	職員、ご利用者新型コロナウイルス感染者発生 (施設内) に伴う感染拡大防止対策実施及び感染者等健康観察期間
	21日 (金)		名寄市立大学社会福祉学科3名SW実習終了 (9/26～)
	26日 (水)		川本美代子さん・退所
11月	15日 (火)		ご利用者・婦人科検診
	22日 (火)		昼食会 (勝手井)
	24日 (木)		あおぞらの会お楽しみ会 (ドライブ・映画鑑賞会)
	28日 (月)		法人内部研修会 (虐待防止・権利擁護研修)
	28日 (月) ・12月 8日 (木) ・12日 (月)	3日間	ご利用者・職員新型インフルエンザ予防接種
	29日 (火)		誕生会
12月	1日 (木) ・15日 (木)	2日間	ご利用者・職員新型コロナウイルスワクチン接種 (5回目)
	5日 (月)		ご利用者・職員後期定期健康診断 障がい者週間記念事業・表敬訪問 産業医巡回訪問
	6日 (火)		障がい者週間記念事業・映画鑑賞会

月	日	期 間	内 容
12月	7日(水)		法人定例監査
	15日(木)		誕生会
	22日(木)		クリスマス会
	26日(月)		第4回理事会
	31日(土)		大晦日交流会
1月	1日(日)		新年交流会
	3日(火)		新年映画鑑賞会
	10日(火)		自活訓練(女性ご利用者・ふらっふ避難訓練等)
	12日(木)～		馬場雅人さん・北の峰病院入院
	16日(月) ～25日(水)	10日間	名寄市立大学社会福祉学科1年生SW実習受入(6名)
	17日(火)		押野直美さん・退所 誕生会
	19日(木)		あおぞらの会・新春お楽しみ会 二十歳を祝う会
	20日(金)		法人内部研修会(ハラスメント防止研修)
	24日(火) ・25日(水)	2日間	昼食会(できたてラーメン提供)
	26日(木)		障がい関係事業所合同防災研修会
	27日(金) ～2月16日(木)	22日間	ご利用者、職員新型コロナウイルス感染者発生(施設内) に伴う感染拡大防止対策実施及び感染者等健康観察期間
2月	3日(金)		節分豆まき
	14日(火) ～3月15日(水)	30日間	尾森典子さん・北の峰病院入院
	21日(火)		誕生会
	22日(水)		法人内部研修会(チームワーク研修)
	27日(月)		第5回理事会 町内除雪ボランティア従事
	28日(火) ～3月10日(金)	11日間	拓殖大学北海道短期大学保育学科1年生保育実習受入(2名)
3月	1日(水)		松岡順子さん・入所
	2日(木)		昼食会(ホットドッグ提供) 甘酒提供
	3日(金)		桃の節句を祝う会
	8日(水)		富良野保健所給食施設指導
	9日(木)		法人定例監査
	10日(金) ～27日(月)	18日間	高橋裕美さん・富良野協会病院入院
	14日(火)		地震想定シェイクアウト訓練
	17日(金)		南富良野高校就職相談会派遣(志戸田支援員)
	22日(水)		第6回理事会
	24日(金)		非常用発電設備工事に伴う大規模停電 雪害想定訓練(停電時備品準備) 法人内部研修(コンプライアンス研修)
	30日(木)		第2回評議員会
	31日(金)		退職者辞令交付 池長清孝支援員、中島玲支援員、栄前田祥太支援員、 石川義勝支援員、中村蓮支援員、桐山千鶴子看護師 退職